

生物多様性保全の取組み状況について

◇大阪 21 世紀の新環境総合計画（H23.3 策定）

全てのいのちが共生する社会の構築 ～生物多様性の恩恵を継続して享受するために～

【2020 年目標】 生物多様性の府民認知度 70%以上
生物多様性の損失を止める行動の拡大 30%増加

- 【施策の方向】
1. 生物多様性の重要性の理解促進
 2. 生物多様性に配慮した行動促進
 3. 府民と連携したモニタリング体制の構築
 4. 生物多様性保全に資する地域指定の拡大
 5. エコロジカルネットワークの構築推進

○生物多様性の府民認知度 16.9%（平成21年度） → 33.0%（平成24年度）

○生物多様性の損失を止める行動の拡大

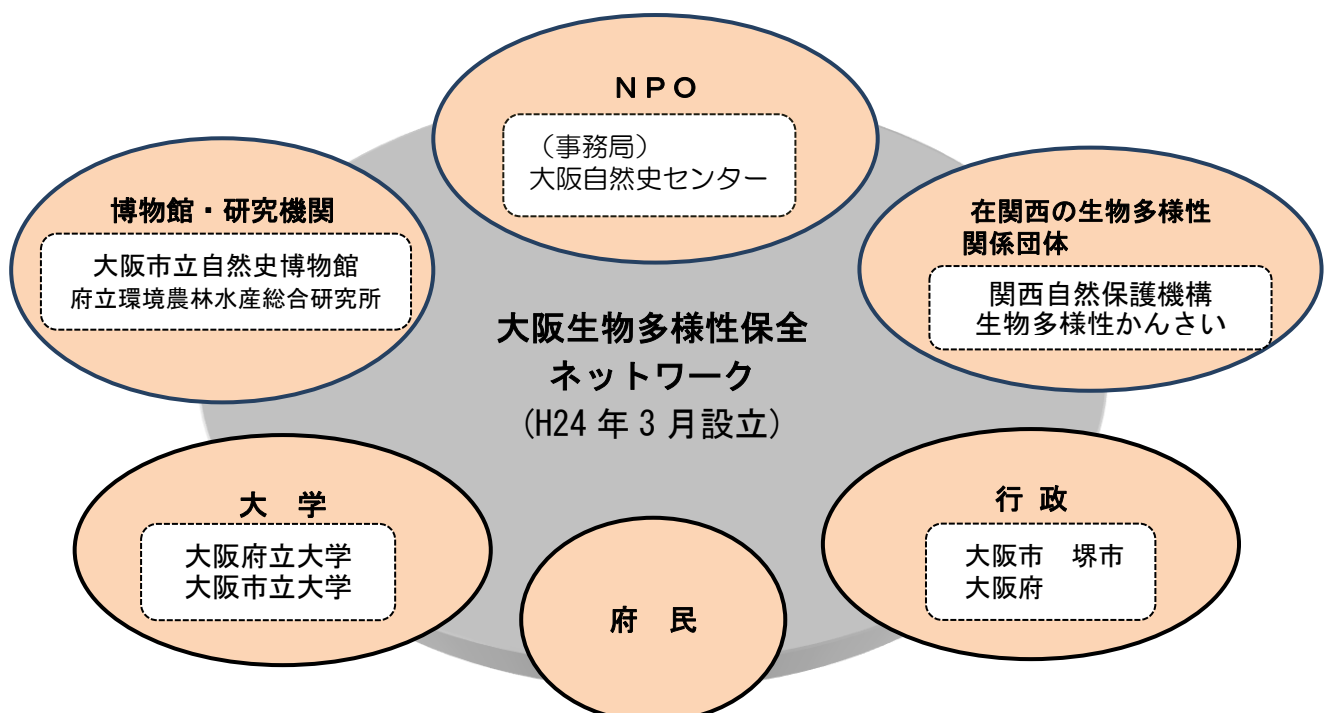
73,300人（平成20年度） → 210,137人（平成24年度）

* 2020 年目標を達成するために

1. 大阪生物多様性保全ネットワークの構築

府内の生物多様性に知見を有する大学、研究機関、活動団体、行政等で構成する大阪生物多様性保全ネットワークを組織、大阪府内における生きもの情報を共有・一元化し、モニタリング体制を構築し、現在、10 団体で構成している。

個々の専門家が持つデータ・ノウハウを集約し、レッドリストの改訂を行った。今後、継続して保全活動・情報発信・普及啓発に取り組む。



2. 大阪府版レッドリストの改訂について

レッドリストは、絶滅のおそれが生じている野生の動植物の保護や、その生息・生育環境の保全を行う場合の基礎資料として利用されるほか、府民に生物多様性の現状を知ってもらう役割を担っている。

平成26年3月にレッドリストを改訂し、大阪府の生物多様性ポータルサイトである「おおさか生物多様性ひろば」等にて公表した。今後は、同HPほか様々な機会をとらえ、府民や企業等への普及・啓発を行い、生物多様性保全の意識向上を図る。

3. 取り組み状況

○おおさか生物多様性パートナー協定(H25～)

生物多様性保全活動に取り組む企業を大阪府及び専門機関等が連携して支援するとともに、府が当該企業のPRや推奨を行うことで、企業の生物多様性保全活動でのCSRを推進する。

表-1 協定締結実績

企業名	協定締結	協定者	活動場所
パナソニック(株) エコソリューションズ [®] 社	H25年11月	大阪府立大学、 府立環境農林総合研究所、 大阪府	(門真市) 本社はんえいのひろば ビオトープ
パナホーム(株)	H26年2月	大阪府立大学、 府立環境農林総合研究所、 豊中市、大阪府	(豊中市) 本社つながりのひろば ビオトープ
南海電気鉄道(株)	H26年3月	府立環境農林総合研究所、 岬町、大阪府	(岬町) いきいきパークみさき ビオトープ